

**WebSphere® IBM Websphere Insurance P & C Pack**  
バージョン 6.0.2  
インストール・ガイド



**IBM Websphere Insurance P & C Pack version 6.0.2**  
インストール・ガイド

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、本書の終わりにある特記事項に記載されている情報をお読みください。

---

## 目次

前書き	v
本書について	v
対象読者	v
組織	v
関連資料	v

第 1 章 概要	1
----------	---

第 2 章 インストール要件	3
ハードウェア要件	3
ソフトウェア要件	3
前提ソフトウェア	3
インストールを開始する前に	4

第 3 章 IBM Insurance P & C Pack の インストール	5
--	---

対話式インストール	5
WebSphere Insurance P & C Pack の手動によるイン ストール	7
z/OS システムの場合の手動インストール	8
インストールが成功したことの確認	9
IBM Insurance P & C Pack の使用	10
既知の問題と制限事項	10
WebSphere Insurance P & C Pack バージョン 6.0.2 のアンインストール	11

特記事項および商標	13
-----------	----



---

## 前書き

---

### 本書について

本書では、IBM WebSphere Business Services Fabric の一部である IBM Insurance P & C Pack のインストール方法について説明します。ここでは、IBM Industry Content Pack for Insurance のインストールについて詳しく説明します。この資料の説明は、分散プラットフォームおよび z/OS システムに共通するものです。

---

### 対象読者

この資料は、管理者がサーバー・サイドでインストールを実行することを想定しています。読者は、IBM WebSphere Business Services Fabric バージョン 6.0.2 および WebSphere Process Server を含む、前提ソフトウェアに関する知識があることを想定しています。

---

### 組織

本書の構成は次のとおりです。

- 第 1 章: 概要
- 第 2 章: インストール要件
- 第 3 章: IBM Insurance P & C Pack のインストール

第 2 章では、Industry Content Pack for Insurance の正常なインストールおよびアンインストールについて説明します。

---

### 関連資料

IBM WebSphere Business Services Fabric をインストールするには、本書に加えて以下の資料を参照してください。

- IBM Business Services Tool Pack インストール・ガイド
- IBM WebSphere Integration Developer の資料
- IBM WebSphere Process Server の資料

IBM WebSphere Business Services Fabric の使用方法について理解するには、以下の資料を参照することができます。

- IBM Business Services Foundation Pack ユーザー・ガイド
- IBM WebSphere Integration Developer の資料
- IBM WebSphere Process Server の資料



---

## 第 1 章 概要

この章では、IBM Insurance P & C Pack のインストールに必要な、IBM Business Services Foundation Pack 6.0.2 および WebSphere Process Server をインストールするためのプラットフォーム、ソフトウェア、およびハードウェアの前提条件について説明します。詳しくは、IBM Business Services Foundation Pack のインストールの資料を参照してください。

IBM® WebSphere® Business Services Fabric v6.0.2 は、サービス指向アーキテクチャ (SOA) において、業界に焦点を当てた複合ビジネス・サービスの迅速なアセンブリー、送達、および統制のためのエンドツーエンド・プラットフォームを提供します。業界固有の意味認識レイヤーを IBM SOA ファウンデーションに追加し、ビジネス・サービスの動的なパーソナライゼーションと、ビジネス・コンテキストに基づく送達を可能にします。

新しい業界の SOA ソリューションの製品化までの時間を速めるために、IBM WebSphere Business Services Fabric にはオプションでインダストリー・パックが付属します。これらのパックには、IT システムとパートナー間のインターオペラビリティの簡略化、サービス再利用の促進、および業界標準準拠の推進を実現するのに役立つ業界共通サービスと参照業界モデルが含まれています。このパックに含まれる業界コンテンツの例には、以下のようなものがあります。

インダストリー・パック内の参照ビジネス・サービス・テンプレート。以下の事前構築 SOA アセットで構成されています。

- ビジネス・サービスの分解を含むビジネス・サービス・メタデータ、
- Web サービス、および業界ビジネス用語集に基づいたビジネス・ポリシー表明、ビジネス・ロール、およびビジネス・チャネルの関連する定義

コンテンツ・パックのカテゴリには以下の項目が含まれます。参照ビジネス・サービス・テンプレートは含まれません。

- 業界用語を分類した業界ビジネス用語集で、関係とプロパティをオントロジーとして含む
- エンタープライズ・エコシステム内の異種システム間で相互運用を可能にするための、業界標準に基づくデータ型と Web サービス・インターフェース。
- 実装環境内の複数のサービス指向ビジネス・ソリューションで再利用できる業界共通サービス

使用可能なインダストリー・パックには、以下が含まれます。

- IBM Insurance Property and Casualty Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Healthcare Payor Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Banking Payments Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Telecom Operations pack for WebSphere Business Services Fabric





---

## 第 2 章 インストール要件

IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 をインストールする前に、すべてのハードウェア要件およびソフトウェア要件を検討してください。ここで指定するハードウェア仕様およびソフトウェア仕様は、Foundation Pack のインストール資料に指定された仕様に追加するものです。使用するシステムが、IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 をインストールするための以下の要件を満たしていることを確認してください。

---

### ハードウェア要件

表 1. ハードウェア要件

ハードウェア・コンポーネント	要件
ハード・ディスク	<b>分散プラットフォームの場合:</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• Intel® Pentium® (または同等品) プロセッサ、1 GHz 以上、または Intel EM64T プロセッサ (または同等品)、1.8 GHz 以上</li><li>• 最低 1 GB の物理メモリー (2 GB 推奨) と 1 GB のディスク・スペース</li></ul> <b>z/OS の場合:</b> z/OS 1.7 以上をサポートする任意のハードウェア
RAM (最小)	• クライアント: 1 GB RAM
推奨構成	IBM WebSphere Process Server の資料を参照してください。

---

### ソフトウェア要件

IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 をインストールするには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

表 2. ソフトウェアおよびサポートされるプラットフォーム

ハードウェア	ソフトウェアのバージョン
クライアント	<ul style="list-style-type: none"><li>• IBM WebSphere Business Services Foundation Pack 6.0.2</li><li>• WPS/WID/RSA の Foundation Pack 6.0.2 ハードウェア要件を参照</li></ul>
サポートされるオペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none"><li>• IBM AIX 5.3 Maintenance Level 2</li><li>• RedHat Enterprise Linux 4 Update 3 (Intel プラットフォーム)</li><li>• Microsoft Windows 2003 Enterprise Server, Microsoft Windows XP Professional</li><li>• z/OS v1.7</li></ul>

---

### 前提ソフトウェア

IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 をインストールするためには、以下の前提ソフトウェアが必要です。

- WebSphere Business Services Foundation Pack 6.0.2 (インストーラー名:  
**wbsf-foundation-pack-cd-image-multiplatform**)
- WebSphere Business Services Tool Pack 6.0.2 (インストーラー名:  
**wbsf-tool-pack-cd-image-multiplatform**)

---

## インストールを開始する前に

注: インストールを開始する前に、次のことを確認してください。

- システムがすべてのハードウェア要件を満たし、必要なすべてのソフトウェアと前提条件をインストールしたこと。詳しくは、『ハードウェア要件およびソフトウェア要件』を参照してください。
- 必要なファイル・システムがデータベース実装のために使用できること。
- Linux または UNIX システムの root ユーザーとして、または Windows システムの Administrator グループのメンバーとして製品をインストールすること。
- アプリケーション・サーバーが稼働中であること。

---

## 第 3 章 IBM Insurance P & C Pack のインストール

この章では、IBM Insurance P & C Pack v.6.0.2 を正しくインストールおよびアンインストールするための情報を提供します。

IBM Insurance P & C Pack は、CD-ROM からインストール・ウィザードを使用してインストールできます。IBM Insurance P & C Pack のインストール手順については、以下で説明します。インストール・ウィザードが使用できるのは、分散プラットフォームのみです。z/OS システムでは手動インストール処理を行う必要があります。

---

### 対話式インストール

この手順は、インストール・ウィザードを使用して IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 をインストールする場合に使用します。インストール・ウィザードは、IBM Insurance P & C Pack 6.0.2 for WebSphere Business Services Fabric に含まれており、CD から直接実行されます。Installing Tool Pack の対話式セクションに、インストール・ステップが順を追って表示されます。

1. **IBM Insurance P & C Pack version 6.0.2** というラベルの製品 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。サポートされる言語のリストから、希望する言語バージョンを選択します。
2. インストール・ウィザード・ファイルは、**インストーラー・ディレクトリー**にあります。プラットフォーム用の実行可能ファイルをダブルクリックし、インストール・ウィザードを実行します。
3. 「**言語の選択 (Language Selection)**」パネルで、以下の手順を実行します。
  - ドロップダウン・ボックスから、希望する言語を選択します。
  - 「**OK**」をクリックします。
4. 「**ようこそ**」パネルで、「**次へ**」を選択して続行します。
5. 続行するには、「**ソフトウェアのご使用条件 (Software License agreement)**」パネルでライセンス条項を確認し、同意する必要があります。ライセンス条項を確認した後、「**使用条件の条項に同意します。**」オプションを選択し、「**次へ**」をクリックします。
6. 「**インストール・セットの選択**」パネルが表示されます。インストールの設定オプションとして「**カスタム**」を選択します。必要なオプションにチェック・マークを付けて「**次へ**」をクリックします。
7. 次の「**インストール・フォルダーの選択**」パネルで、WebSphere Business Services Fabric のデフォルトのインストール・ルート・ディレクトリーを受け入れるか、または「**どこにインストールしますか?**」フィールドに、WebSphere Insurance P & C Pack v6.0.2 をインストールする別のディレクトリーを指定します。「**次へ**」ボタンをクリックして先に進みます。
  - a. デフォルトのルート・ディレクトリーを削除し、フィールドを空のままにすると、続行することができません。
  - b. ディレクトリー名に非 **ASCII** の特殊文字を使用することはできません。

- c. Windows プラットフォームの場合: インストール・ディレクトリー・パスが 60 文字を超えないようにする必要があります。
8. 次の「**WebSphere Process Server のロケーション**」パネルで、WPS の インストール先のルート指定します。(例: C:\Program Files\IBM\WebSphere\ProcServer)。「次へ」をクリックします。
  9. 次のパネルでは、Insurance P & C Pack のエンタープライズ・アプリケーション・モジュールを インストールするプロファイルを選択できます。このプロファイルは Business Process Choreographer をサポートする必要があります。これを既存のプロファイルに 追加する方法については、WPS の資料を参照してください。このプロファイルは Business Process Choreographer をサポートする必要があります。これを既存のプロファイルに追加する方法については、WPS の資料を参照してください。ドロップダウン・オプションからプロファイルを選択して 「次へ」をクリックします。インストーラーによってプロファイルが検査され、必要な場合は **server1** が始動されます。
  10. スクリプトのロード中には「お待ちください (Please Wait)」の画面が 表示され、システムに対して **WebSphere Insurance P & C Pack v.6.0.2** を 構成していることが通知されます。
  11. 次の「**WebSphere Business Service のロケーション (WebSphere Business Service Location)**」 パネルでは、WebSphere Business Services Fabric の Business Service Repository に オントロジー拡張機能を追加するために必要な接続情報を入力します。「**プロトコル**」の名前には 「http」または「https」を指定します。「**サーバー名**」フィールドには **localhost** や **www.ibm.com** などを 指定します。「**ポート**」フィールドには 9080 を指定します。「**ユーザー ID**」フィールドには、WebSphere Business Services Fabric ツール・アプリケーションをホストするサーバーに対する権限を持つ 管理者の ID を指定します。「**パスワード**」フィールドには、当該ユーザー ID の管理パスワードを指定します。これらの値は、WebSphere Business Services Fabric ツール・アプリケーションを実行するファブリック・サーバーでホストされる Web サービスに接続するために 使用されます。「次へ」をクリックします。
  12. 次の「**プリインストールの要約**」パネルで、インストールされるコンポーネントの詳細、これらのコンポーネントによって消費されるスペース、およびこれらのコンポーネントがインストールされるシステム上の場所を確認します。これらの詳細をすべて確認し、「**インストール**」をクリックして製品をインストールします。それ以外の場合は、「**前へ**」をクリックし、指定内容を変更します。

インストールが完了すると、インストールの結果が画面に表示されます。エラーが検出されなかった場合は、インストールが正常に完了し、コンテンツ・パックの使用を 開始できると表示されます。エラーが検出された場合は、ログ・ファイルを参照してください。これらのログ・ファイルは、インストール先のルート・ディレクトリーおよび 構成ディレクトリーにある .log、.stdout、および .stderr ファイルです。

## Websphere Insurance P & C Pack の手動によるインストール

このセクションでは、Websphere Insurance P & C Pack の 手動インストールについて詳しく説明します。インストール時には、WebSphere Process Server および WebSphere Business Services Fabric のランタイム・コンポーネントも インストールされます。

Insurance P & C Pack を手動でインストールするには、対話式インストーラーを実行して**Files Only**オプションを選択します。これにより、ご使用条件が表示されます。ご使用条件に同意すると、手動インストールに必要なファイルがシステムにコピーされます。

**WebSphere Process Server** のランタイム・コンポーネントをインストールするには、 以下のようにします。

EAR ファイルを WebSphere Process Server にインストールします。Insurance P & C Pack のエンタープライズ・アプリケーション・モジュールは、WebSphere Process Server プロファイルにインストールする必要があります。これらのアプリケーションを インストールするプロファイルでは、**Business Process Choreographer** を 構成しておく必要があります。これを既存のプロファイルに 追加する方法については、IBM WebSphere Process Server の資料を 参照してください。

1. コンテンツ・パック・ファイルのインストール先として選択した 場所で runtime ディレクトリーを探します。
2. 管理コンソールを使用して、runtime ディレクトリーの 各 .ear ファイルを WebSphere Process Server に インストールします。

**Fabric Content Archives** を **WebSphere Business Services Fabric** にインストールするには、 以下のようにします。

1. <http://localhost:9080/fabric/app> などの IBM WebSphere Business Service Fabric Portal にログインします。
2. 左にあるナビゲーション・バーを使用して Governance Manager に入ります。
3. 「インポート/エクスポート」オプションを使用して、Fabric Content Archives (FCA) をロードします。
4. ロード画面を使用して各 .fca ファイルをロードします。
5. FCA をインストールします。

注: .fca ファイルの ロードは各コンテンツ・パックに固有です。

### FCA のインストール

表 3. JAR ファイル

アクション	項目	値
インストール	デフォルトのインストール先	<program root>/IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C

表 3. JAR ファイル (続き)

アクション	項目	値
	FCA	<ul style="list-style-type: none"> <li>• industry-iso-codes-model.jar</li> <li>• industry-iso-codes-lp.jar</li> <li>• insurance-pc-glossary-ontology-model.jar</li> <li>• insurance-pc-glossary-ontology-lp.jar</li> <li>• insurance-pc-core-ontology-model.jar</li> <li>• insurance-pc-core-ontology-lp.jar</li> <li>• insurance-pc-ontology-reference-model.jar</li> <li>• insurance-pc-reference-lp.jar</li> </ul>

**To install the common service EAR :**

表 4. Common service EAR

Action	Item	Value
Install	Default install location	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/runtime
	EAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>• insurance-fabric-service</li> </ul>

参照インプリメンテーション・コンポーネントを インストールするには、以下のようになります。

EAR ファイルを WebSphere Process Server にインストールします。プロジェクト交換を WebSphere Integration Developer にインポートします。

表 5. Reference implementation components

Action	Item	Value
Install	Default install location	<program root>/IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/reference
	EAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Ins-app.ear</li> <li>• insurance-reference-app.ear</li> </ul>
	FCA	<ul style="list-style-type: none"> <li>• insurance-reference-impl-ontology-model.jar</li> <li>• insurance-reference-impl-ontology-lp.jar</li> </ul>
	Project Interchange (.zip)	ClaimSummaryAcordGtwy-project-interchange.zip

## z/OS システムの場合の手動インストール

All the required EARs and the OCP files will be bundled and available in a compressed file format. Extract the EAR files to be deployed on WebSphere Process Server. For importing the OCP see the *Manual Installation* section of the document

## インストールが成功したことの確認

正常にインストールされたことを確認するには、WebSphere Process Server の管理コンソールで以下の EAR ファイルがあるかどうかを調べます。

- ins-pc-common-svc
- ins-pc-cbs-svc
- ClaimSummaryAcordGtwyApp

**IBM Business Services Foundation Pack** に **オントロジー**が正常にインストールされたことを確認するには、以下のようにします。

1. Internet Explorer を開く
2. 「アドレス」フィールドに URL `http://<host>:<port>/fabric/app` を入力して <Enter> を押します
3. ログイン資格情報を使用して WebSphere Business Services Fabric Portal にログインします
4. 「マイ・サービス」メニューで、「**Governance Manager**」 > 「プロジェクトの構成」をクリックします
5. 「プロジェクト名」の下に以下のプロジェクトが表示された場合は、オントロジーが正常にインストールされています。

- Industry - ISO Codes Model
- Insurance Glossary Model for Property and Casualty (Project Type: Ontology)
- Insurance Core Model for Property and Casualty (Project Type: Ontology)
- Insurance - P&C Reference Model (Project Type: Business Service)
- Insurance - P&C Reference Implementation (Project Type: Business Service) : This project should also be there if the reference implementation FCA are imported.

表 6. コンポーネントの場所

コンポーネント	コンポーネント・タイプ	インストール先
共通サービス	エンタープライズ・アーカイブ (.ear)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/runtime
SCA ライブラリー	プロジェクト交換 (.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/projects/library
SCA モジュール	プロジェクト交換 (.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/projects/modules
Insurance P & C UML モデル	再使用可能資産 (.ras)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/models
参照インプリメンテーション	プロジェクト交換 (.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/projects/modules
	エンタープライズ・アーカイブ (.ear)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/reference/runtime
	オントロジー・モデル (.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/reference/fca



表 6. コンポーネントの場所 (続き)

コンポーネント	コンポーネント・タイプ	インストール先
アセンブラー	(.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/assembler
Third Party	(.zip)	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C/thirdparty

## IBM Insurance P & C Pack の使用

IBM Insurance P & C Pack をインストールすると、開発者は以下を行うことができます。

- 複合ビジネス・サービスを開発するための共通サービスを組み込む
- 業界コア・モデルを使用して保険用語集の用語をカスタマイズおよび拡張する
- SCA ライブラリーおよび SCA モジュールを使用して、CBS の開発を開始する

## 既知の問題と制限事項

### 失敗したインストールのリカバリー

WebSphere Insurance P & C Pack のインストール処理中にインストーラーからエラーが検出されたことを示すメッセージが出されたら、ログを調べてそのメッセージを探し出してください。

- インストール場所のルート・ディレクトリーに .log ファイルがあります。このファイルには、インストールに関連する主なファイル操作の成功または失敗についての詳細が記録されています。通常、ファイル操作に関連するエラーが示すのは、権限かディスク・スペースの問題です。たいていは、これらを解決してインストールを再試行できます。
- HttpMultipartPost 操作時のエラーは、WebSphere Business Services Fabric Tools サービスが検出されないことを示します。通常これは、WebSphere Business Services Fabric Tools アプリケーションをホストするサーバーが稼働していなかったか、提供された接続情報が誤っていたことが原因です。この問題は、オンロジック拡張ファイルを手動でインストールすることによって解決できます。この操作に関しては、『**手動インストール**』を参照してください。
- 構成手順でのエラーは、configuration ディレクトリーに格納されています。構成手順では、進捗状況が .stdout および .stderr ファイルに書き込まれます。これらのファイルには、実行した構成手順に固有のメッセージが保管されています。
- エンタープライズ・アプリケーション・モジュールがインストールに失敗する理由はいろいろあります。
  - サーバーが開始されていない。
  - 管理ユーザーに提供されたユーザー名とパスワードが誤っている。
  - エンタープライズ・アプリケーション・モジュールの手動インストールの詳細については、『**手動インストール**』セクションを参照してください。



## WebSphere Insurance P & C Pack バージョン 6.0.2 のアンインストール

Insurance P & C Pack version 6.0.2 をアンインストールするには、以下のようになります。

- <contentpack>/uninstall ディレクトリーを見つけます。
- アンインストーラー <uninstallfilename> を実行します。
- アンインストール・オプションを選択し、「次へ」をクリックします。(デフォルトの選択内容では、インストーラーによってインストールされたすべてのコンポーネントが除去されます)。
- 「アンインストール (Uninstall)」をクリックして、すべてのファイル、レジストリー項目、インストール中に作成されたフォルダー、およびコンテンツ・パックとともにインストールされた WPS モジュールを 除去します。アンインストーラーによって、Insurance P & C Pack version 6.0.2 の テーブルで指定された Unstall-Ear セクションから EAR ファイルが 除去されます。

表 7. EAR ファイル

アクション	項目	値
アンインストール	デフォルトのインストール先	<programroot>IBM/WebSphere/Fabric/Insurance/P_C
	Enterprise Applications	<ul style="list-style-type: none"><li>• ins-pc-common-svc</li><li>• ins-pc-cbs-svc</li><li>• ClaimSummaryAcordGtwyApp</li></ul>



---

## 特記事項および商標

### 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711

東京都港区六本木 3-2-12

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Lab Director

IBM Corporation

Bridgepoint Plaza II  
5914 W. Courtyard Drive, 4th Floor  
Austin, TX 78730

U.S.A

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプ

リケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

(C) (お客様の会社名) (年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 (C) Copyright IBM Corp. 2006. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM

IBM (logo)

AIX

ClearCase

ClearQuest

DB2

DB2 Universal Database

Rational

Tivoli

Tivoli (logo)

Tivoli Enterprise

Tivoli Enterprise Console

WebSphere

z/OS

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、および Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。





Printed in Japan